

令和 6 年度 檜原村村民対話集会

日時：令和 6 年 9 月 2 5 日（水）19 時 30 分～21 時 10 分まで

場所：樋里コミュニティセンター

村側出席者：村長、副村長、教育長、企画財政課長、教育課主幹、外主任 1 名

参加人数：21 人

《意見交換》

■弘沢の滝ふるさと夏まつりで、駐車料金が一律 1000 円だったが、檜原村の村民は 500 円にするとか、考えてほしい。

→【村長】

滝まつりに関しては、村でも相当の金額を補助して観光協会で行っていただいております。警備員等に費用が非常にかかるということで 1000 円をゴミの処理代だとか、終わった後のグラウンド整備だとかで、金額をちょっと徴収しないと実施できないんです。そういう意見についてはこれから予算の時期でありますので、ご意見があったということで検討させていただきます。村民を 500 円にすると村の負担を多くしないと維持できなくなるとしますので、その辺りも考慮して検討させていただきたいと思いますのでご理解をいただきたいと思います。

■樋里コミュニティセンターには AED がないです。避難所に指定されているところに AED が無いのはいかがなものかなと。今後、設置するような予定があるのでしょうか。いろんな方が使えるように、鍵を開けなくても使えるような場所に設置してほしいです。

→【村長】

AED の設置について他の会場でもお店に設置してほしいという話を聞いております。そして今までどうしてつけなかったのかなっていうことを聞いたら、盗難にあったりするので設置できなかったということでした。他団体では外に置いているケースもあるので、盗まれないような形のものなのかも調査して、可能であれば付けたいと思います。一度に付けられるかどうかはわかりませんが、住民の命を守る観点からして、付けるのがいいのかと思いますので検討させていただきます。

■先ほど村長が南北道路の再開の要望が終わったとおっしゃいましたが、それは以前の計画をそのまま進めるってということなののでしょうか。というのは、当時私の父がちょっと携わってまして、私は全然わからないもので、何か分かるような形にしてもらえればと思います。それとあと、土砂崩れがそのままになっている場所があるんですが、対応の進捗状況が知りたいです。

→【村長】

南北道路の関係なんですけども、以前に用地買収もある程度終わっているということで、設計もある程度終わっていると。そして東京都で税金が落ち込んだということで中止になってしまったんですね。南などはもう、壁に向かって橋がかかったところで中止になっております。そういった前のものをどうするかっていうところまでは話が全然行っていないので、まずはとにかく再開してほしいという、そういう要望を先にして、また設計についても、20年以上経っていますので、ある程度設計はし直さないと、今の基準には合わないのかなと思っております。笹久保大橋の手前の所から橋を渡って、出てきた所でトンネルを掘るっていう計画があったようですけど、それについても、これから具体的にやろうっていうなったときにですね、やらせていただきたいと思います。そして実は檜原村でも南岸道路も始まっていますし、それから本宿の碎石場も30年ぐらい経っているんですけどなかなか進んでないのが現状なので、東京都に私の方から言っている顔されないんですけども、とにかく手を付けないと進まないの、そんな気持ちで要望させていただきました。そしてあと土砂崩れですね。台風で相当荒れてしまって一時的な工事はやったんですけど、ここで吹付作業等をこれから2年かけてやるということで聞いております。浅間林道も崩れたりしているところですけど、東京都の林道で、今現在通れない状況です。それについてもですね、いろんな場面で東京都に話す機会がありますので、通れるようにしてくださいと話させていただきます。

→【副村長】

補足になりますが、今、二か所崩れています。小岩側の方で法面吹付をして、今年の吹付が終わっています。それが第1工区なんですけどそれが終わって、今度北側も崩れてるんですけども、そちらについては山が滑ってるような格好で落ちてますんで、今設計をしています。それで設計をしてそれから工事をさせていただくので、あと、早くても2年か3年で全面的に通れるような形では考えているところです。ご迷惑おかけして申し訳ありません。

■歳をとって小岩のような所はいい所だと思ってたの。今ね、免許返納して車がなくなったらこんなに不便な所はないね。タクシーは高い。五日市から1万円、1万5千円は取られるしさ。バスは登らないしさ。下からね、こっちまで30分以上かかるって、僕

もう 90 だからさ。大変なんで。だから何かミドルバスとか、そういうのも作ってもらいたい。やすらぎにバスで行けるけど、帰りが大変なんだよ。

→【副村長】

免許の返納をしてもらおうと 3 年間 3 万円っていうのをお支払いしていますけれど、その後が無いのかということも今言われています。そしてデマンドバスがあるところはデマンドバスをご利用いただいています。ちょっとしたところでやっぱり不便なところがあるという話も出ています。今全体的にですね、福祉の方のサービスでやるのかとか、タクシーも含めて検討していますので、いずれかの方法で何とかそういう地区が無くなるような形で今検討しているところでございますのでご理解いただければと思います。

■サル対策で役場の担当者と相談して大型の罠を設置されるようになった。獲れるかどうかかわからないですが、期待しています。あと役場の方でクリの木とかカキの木とか、サルを寄せ付けないための木の伐採をしてくれると自治会長会議で聞いたので、役場の方に申請したいと思います。そのときはよろしくお願いします。

→【村長】

ありがとうございます。地元の人たちに協力していただかないと、もう最後捕まえることができないのでぜひ協力をしてください。そして、ユズの木についてはあまり大きくならないので、実を取れば、そういう動物の来なくなりますので、ぜひ皆さんに取っていただきたいと思います。

■檜原村って全体的に遊具のある公園が少ないかなと思ってまして、もう私なんか子育てが終わったのでなくても全然構わないんですけど、今こういう場にもだんだん小学生とかそれ以下の小さい方も増えていて、外で遊べる環境が少ないのかなと。それは村全体ですが。その辺をどういう感じで捉えているかを伺いたいと思います。

→【村長】

人里にも以前は小学校があって、そこにブランコだとか、いくつかの遊具があったんですけども、何かあったときに責任が取れないということで地域でもブランコを撤去したりしたんですね。ですから遊具で遊ぶのが本当になくなっているのが現状です。そしてやすらぎの里なんかでは遊具があるんですけど、他の地域の人たちが行って遊ぶことはできないと思うので、ぜひ学校のグラウンドがありますから、この地域である程度面倒見ていただければ、遊具とかそういうのも少しぐらいはもう設置できると思いますので、これについては相談いただければ対応させていただきます。そして、いろんなところで他の議員の皆様からも、遊び場を作ってほしいというそういう要望が上がっております。

それについても今まで作ってこなかったんですけども、できたらそういうふうなみんなが集まってちょっとしたベンチを置いたり、屋根を作ったりして、お年寄りから子供たちが遊べるようなものを作りたいと、私は思っています。まだ用地の取得をしてないので、はっきりしたことは言えませんが、できたら東部地区に作ってみたいと思います。そんなことで、ご理解をいただきたいと思います。

■サルの件。花火を使ってるんですけど、サルも慣れてしまって逃げてくれない。たまたまテレビ見ていたら、すごい大きな音がするものがあった。やった方がいい。

→【副村長】

以前もそういうお話があって、運動会のように上げるような花火とか、花火大会の前に打ち上げるような花火を、細谷火工っていうところに話をし、やってみたこともあるんですよ。ただ近所にすごい迷惑がかかるとか、びっくりしちゃうっていうことで、今は、ちょっと控えてるんです。あきる野市でもやってたんですけど、やはり音の効果より近所がびっくりしちゃうってことでなかなか使えてないっていう話なんです。今はいろいろな所で開発してるんで、そこまで大きい音でない物があれば入れていきたいというふうに思っております。イメージされてるのは多分、その火薬の資格を持ってやる花火で払ってるのかなと思うんで、そこまでじゃないやつで、もうちょっと効果がありそうなものを見つけたりして、また配れるようであれば配ります。あとサルが出たときに電話いただいて、猟友会の方を回すようなこともあるので、もうその辺も含めて対応させていただければと思います。

■東京都の文化財指定になっている郷土芸能は、申請すれば修理費を全額出してもらえそうですね。他の指定されてないところは村が半額補助してくれるようなシステムなんですけど、やっぱりどこの地区もお金が結構かかるんですよね。小岩は初めて申請するんですけど、都の指定になってないので、村の補助でおそらく半額補助してくれるようなんですけど、何かそこはもう少しっていうところあるんです。100%っていうわけにはいかないかもしれないんですけど、なかなか維持していくのは大変なので、ちょっと不公平感があるかなって思うんです。

→【教育長】

おっしゃる通り、村の単独の補助については事業費の2分の1ということで、今回は小沢地区と樋里地区から申請が出ていて、それぞれ事業費の2分の1ということで予定になっています。ずっと今まで半分できていますので、ここで急に上げろというのもちょっと厳しいかなと思いますけども、ちょっと様子を見て、財政当局とも考慮しながら検討させていただきたいと思います。今回は2分の1でご勘弁をいただきたいと思います。

■樋里も 400 年ちょっと続いてる郷土芸能なので、当然潰したくないんで、それが金つてなるともうね、ちょっと寂しくなっちゃうんで。ようやくここで子供たちも結構増えてきたんですよ。それでお金もかかるし、衣装の方もちょっとボロボロになってるので、ここで半額出してくれるのはすごいありがたいことです。ありがとうございます。

→【村長】

今のことは本当に、私もそう思ってます。私も人里で獅子の衣装だとか、いろんなものの修復したときに会計をやっていたんですけど、東京都の指定になると 9 割補助ですね。みんな補助で直しました。できたらどこかの蔵か何かに、どこかから伝わったというようなものを発見してもらえれば、すぐにでも話をして、都の文化財指定になると思います。人里でも、藤倉から人里に伝わって上野原に伝わったというふうな巻物が上野原から出てきて証明になって都指定に繋がった経過があります。ですので、ぜひそういうのを発見していただけたらと思います。そして東京都と村との差が結構ありますので、これについては教育長が話した通り、今後文化財を大切にする上では、そういうふうなところもちょっともうちょっと積み上げて、支給したいなと思っておりますが、これはまた財政的なことも関わりますので、検討させていただきます。そして伝統芸能がもう人が少なくて維持できないようなところも出てきてますので、ぜひみんなで頑張っていたいて、住んでる人たちと、外部に出た人たちにも応援していただいたり、協力隊にも応援していただいたりしてとにかく伝えていただきたいと思います。

■ニュースで、多摩地区の井戸水で PFOS が高く検出されてるとやってました。各自治体ごとに色分けでどのくらいの濃度かが出ていたんですが、檜原を見たら「報告なし」となっていた。井戸水を使っているところはあまりないのかもしれないけれど、念のため南北の水道の状況をもし可能であれば調べてもらいたい。それでそれを公表していただきたいなと思います。

→【村長】

PFOS は、おそらく消火剤が主な発生源だと思いますけど、ちなみに南の浄水場については人が立ち入るような所ではないので、それはありませんと、去年の村民対話集会のときには答弁させていただきました。北の浄水場については毎年検査をやっている、月 1 ミリ以下という数値が発表されています。井戸の調査は行っていません。

→【副村長】

今の数値は村のホームページに載せていますので、もし気になればご確認ください。

■小和田坂のところなんですけども今年ぐらいに伐採をしちゃいまして、何にも無くなって、ガードレールの切れ目にちょっと隙間があるんでそこがちょっとやばいかなと思っています。木があって、今まではそんなに関係ないようにやってたんですけど。

→【村長】

担当の方で確認させていただいて、人が通れるぐらい空いていけば危ないので、そういうふうなところを防ぐような形で対応させていただきます。

■尾根通なんですけども、小岩の自治会に併合しまして、私も小岩の方に入ってるけども、私が自治会長のときに備蓄調査をしまして、多分そのとき確認したときにはほぼ空の状態だったんですね。災害時、小岩のものを尾根通に届けられるかといったら届けられない。尾根通で管理してくださいと言っても、尾根通も小岩と笹久保の二つにわかれていて、民家も離れているので、去年もう、備蓄もそのまま残ってて、うまく活用していただいた方がいいのかなと思ってはいる。

→【村長】

備蓄庫は、住んでる人に対して3日分ということで、人数で備蓄してますので、できましたら、自治会で小岩・笹久保と話をさせていただいて、あるところから分けて備蓄してもらうようにできないですか。尾根通は2軒で、笹久保は1軒。災害が起きたときにこちらから持っていくということとはできないと思うので、そこに備蓄庫があるようでしたら、下からその分を分けて持っていくか、あらためて村の方でそこは別にして3件分ということで、備蓄してほしいということがあれば、村の方でそれは別枠で、そこに食料とかそういう対応はできると思いますので、とにかく災害が起きたときに絶対こっちから持って行けないので、まずは自治会で話をさせていただいて、対応させていただきますので、その要望に基づいて対応させていただきます。

→【副村長】

たぶん、鍵の心配が出てくると思うんです。なので、もう3世帯とかって決まっていれば、それぞれの家に鍵を渡しておいて、こちらの方ではもう特に開けない。地元で困ったら使ってくれっていうような形がとれるかどうかということを含めて、相談いただければかなと。下に置いといても多分無理だし、持って行くのも大変で上の備蓄庫をどこにせってことなら別なんですけど、備蓄庫はそのまま置かせていただければ、そういう方法が一番いいのかなと思う。ちょっと自治会長の方で上の人と相談していただくような格好でお願いできますか。

■今のお話に関連してると思うんです。たまたま私民生委員やってて相談を受けたんですけど、8月の終わりの台風。結構大きいのが来ると言ってた割には大したことなかった。あのときに尾根通の1人住まいの方がいるんですけど、その方からこれもし道が崩れたりした場合にどうすればいいかと聞かれたんです。要は娘も息子も迎えに行けないよとなった場合、私もあんまり深入りするとか指導されているので、対応がなかなか難しいなど。私はとりあえず役場に連絡してくださいと伝えたんですが、もしそういう住民から避難とか、風が吹いて怖いとか、何かそういうときに、役場に連絡すれば、避難所であるこのコミセンまで連れてきていただけるのか、それとも地元の消防団員を動かすのかとか、その辺ちょっと正解が見えなくて、とりあえず役場に連絡してくれと逃げちゃったんですけど。たまたま今、備蓄庫の話があったんで思い出しました。

→【村長】

避難の時期の本当に生死を分ける状態だと思いますので、避難するなら早めに避難しないといけないし、明るいうちに避難しないといけない。台風が来る場合には、民生委員さんとして村の福祉の方に連絡していただいて、そこで対応を検討するような形で「ここに来れば、避難所として居られますので」とか、そんな形で相談に乗っていただけませんか。村の方でも判断したり、一緒になってですね、村の方が動くのが一番いいので、村が動ければ、早めだったら、対応できると思います。

■自分が役員やってるとき救急車が通れないから迂回路を作ってくださいと言って、自分が役場の人とどういう道を作るかっていう検討してもらったら、現場で十五、六年かかると言われたんですね。1年で40mしか上がれないって言われたんですけど、最初の計画はバンガローずって行って、向こうの尾根からいったん緩やかに上がって、また戻ってそれで上に上がる2.5キロぐらいかかる。それが完成するのに15年ぐらいかかるっていうので。住んでる人がいなくなっちゃうんじゃないかという話になって。それでそのまま終わっちゃったんですけど…。今の道は急すぎて救急車が何かあった場合に行けない状態だと思います。

→【副村長】

道を作るというのはなかなか難しいんですけど、消防署の方とも相談してですね、救助方法を確認してみます。奥多摩町等の事例も確認してみます。

【村長】

本日はお忙しいところ、対話集会にご出席をいただきまして大変ありがとうございました。皆様からいただいた要望やご意見につきましては、村政運営に反映させていただき

ます。これからもですね、住民に開かれた新しい檜原村を築いてまいりますので、ぜひ皆様にもご協力をお願いしたいと思います。本日は大変有難うございました。